

# 中部地区 公民館だより

## 第166号

令和6年11月29日発行  
上山市中部地区公民館  
上山市十日町4番11号  
TEL 673-2588  
FAX 673-0379

## 指先まで伸ばして 心も身体もリラックス

11月5日(火)、多目的ホールでヨガ教室を開催しました。かみのやまスポーツクラブの横倉康子さんからご指導いただき、ストレッチを中心にした内容で、身体の隅々まで伸ばしていきました。ゆっくりとした動きでしたが、血流が良くなっているのがわかり、左右対称に動かすことにより、骨盤を中心としたバランスも良くなりました。「手足の指先まで温かくなった」「動きと呼吸を合わせるのが難しかったけど、すごく身体が軽くなった」「無理なく運動出来て楽しかった」などの感想をいただきました。



## 街歩き最高!!



## 馴染みの場所も 皆で歩くと一味違う

11月6日(水)、今年度最後の街歩きウォーキングを行いました。第4回目の街歩きは、北町地区会長の堀川栄助さんに案内していただき、北町と八日町周辺を散策しました。称念寺さんでは、住職から貴重なお話と幽霊画の掛け軸や巨大な木魚を見せていただきました。その後、四つかどの地蔵様、宮川水管橋、八日町地蔵堂を回り、「けやきの家」で一休みしました。店内には昔の街並みや大ケヤキを映した写真が飾ってあり、「懐かしい。昔を思い出すね」と感慨深げな方もいました。休憩の後は、八日町ポケットパーク1号と矢来二丁目の休石を見学して公民館に戻りました。各所で堀川会長の分かりやすい説明があり、地域の再発見ができました。



# 七宝焼き教室



## 昨年、リベンジを誓った男性陣

10月30日(水)、西郷地区公民館推進員2名の方にご指導いただき七宝焼き教室を開催しました。

昨年は男性を対象に七宝焼き教室を行いました。女性の方から「女性を対象にした七宝焼き教室はいつするの?」との声が聞こえてきたので、今年は男女関係なく募集をしました。

「次はもっと上手に作れる」「思っていたのと違うけど上手くできた」などと笑顔いっぱい話していました。

世界でたったひとつの作品が素敵にできました。



# 公民館清掃

11月2日(土)、公民館利用団体の方に協力をいただき、普段出来ないところの掃除をお願いしました。

朝の貴重な時間をいただき、ありがとうございました。



エアコンのフィルター清掃



調理室の清掃

# 一般講話

上/山 観音寺前



下大湯と由来

# 上山の歴史

本陣



脇本陣



11月13日(水)、文化財専門員の荒木雄之さんをお迎えし「上山の歴史」と題して、講演会を開催しました。昨年も「江戸時代の上山」と題して講演会を開催していただきましたが、上山の話をもっと聞きたいと要望があり今年も上山の講演をしていただきました。

「楽しかった。まだまだ足りない」「どんな人、武士がいたのか人物についても知りたい」などと、たくさんの方が上山について興味をもったようです。

# 参加者募集



## フラワーアレンジメント教室

### アレンジメントフラワーでお部屋を飾りませんか？

日 時 12月18日(水) 午前10時から  
場 所 中部地区公民館 会議室 1・2  
講 師 北部地区公民館事務長  
対 象 中部地区在住の方  
募集人数 10名  
材 料 代 1,500円  
申込締切 12月10日(火)  
持 ち 物 工作用ハサミ、エプロン、必要な方は飲み物



## 出前スポーツ教室①、②

### ①足腰元気体操

日 時 12月20日(金)  
午前10時から午前11時  
場 所 中部地区公民館多目的ホール  
講 師 NPO 法人  
かみのやまスポーツクラブ  
対 象 中部地区在住の方  
募集人数 18名程度  
参加費 無料  
申込締切 12月12日(木)  
持 ち 物 屋内シューズ、必要な方は飲み物



### ②モルック

日 時 1月10日(金)  
午前10時から午前11時  
場 所 中部地区公民館多目的ホール  
講 師 NPO 法人  
かみのやまスポーツクラブ  
対 象 中部地区在住の方  
募集人数 18名程度  
参加費 無料  
申込締切 1月6日(月)  
持 ち 物 屋内シューズ、必要な方は飲み物



## 12月の予定

4日(水) はこべの会 学習会⑥スポーツ教室  
9日(月) 童謡愛好会 野の花 演奏会  
16日(月) 第2回中部地区管内地区会長会  
18日(水) フラワーアレンジメント  
はこべの会 サロン  
20日(金) 出前スポーツ①足腰元気体操  
27日(金) 公民館ワックスがけ

## 12月のサロン

1年を締めくくる茶話会&  
クリスマス会  
日時 12月18日(水) 午前10:00から  
場所 中部地区公民館多目的ホール  
会費 1,000円(飲み物、菓子代)  
申込は12月10日、キャンセルは13日まで  
準備の都合上、期日はお守りください



## 12月の百歳体操

5、12、19、26日



## お知らせ

公民館は12月29日(日)から1月3日(金)まで年末年始休業になります。  
かざすくんは12月28日(土)から1月5日(日)までかざすことができません。



# 地域の宝再発見

NO.98

## 藤井松平氏シリーズ4. 「松平信亨侯」～(2)

### ～歴代の疲弊に埋もれた信亨侯

第四代信亨侯の時代に、天明四(1784)年六月幕府は街道流通の改善策として「道中宿駅人馬使用規定」を再令しています。全国諸街道が整備され江戸・大坂中心に世が廻ります。しかし、諸国諸藩は疲弊が続いています。

その中、上山では「天明四(1782)年二月、令して昨年凶作のため百姓の田畑及び農具を抵当として金銭を借用した者には貸主に諭して年賦で返済する事に改めさせた。又村々の窮民には御助米を下された」(②)とあります。藩財政は底をついて窮していたにもかかわらず、飢饉に困る農民のために「生かさず殺さず」として貸金屋に令し救済米を拠出したことが窺い知れます。譜代上山藩は「東北諸藩の楯」の任務を代々負っていましたが瀕死の状態でした。

領地においては相次ぐ凶作で藩財政の収入増は望む術なく破綻に瀕し、幕府筋への折衝・外交は信将侯実家の信州上田城主松平伊賀守の取次ぎで辛うじて社稷しゃしよくを保っていました。「信亨の君は、和歌・俳諧を好まれ、また桜花を愛でたまい、書画をよくし、当時の諸藩侯伯のなか風流でならしたまう」(①)と記されています。八代将軍吉宗の孫、白河藩主松平定信とも親交がありました。白河翁定信は「天明の飢饉」

(1783)時に藩政立て直しや領民の救済を行わない、領内から餓死者を一人も出さなかったと伝わります。天明七(1787)年にはその手腕を認められ幕閣老中首座となり「寛政の改革」を実行しました。信亨侯は定信とも親交がありましたが、生き方や美意識に行き違いがあったと記されています。

弱小譜代上山藩主は代々の役向きとして、六代家宣公の増上寺法要警衛、九代家重公の七回忌警衛、外桜田門御番、他に五回大坂加番を勤めました。しかし、前号で紹介した安永八(1779)年五回目の大坂加番下向の際に路用金が尽き果て、帰路途中の大垣藩から借財する事態でした。

殿が加番途中に路銀なく借財するという事は前代未聞です。

信亨侯は才学兼ね備わっていて当初新吏僚を登用し重役専断を牽制、藩政改革を企画しましたが、新吏僚(理財吏僚)は老臣守旧派(旧来の納戸方)から「口先達者で邪悪な君側の佞人」と色分けされ、また老臣の内通で上田伊賀守から度々藩内介入を招く事態になりました。「上田様に聞いて」、「伊賀守様に相談して」と重大案件は信州上田藩主松平伊賀守が指示する事態となり、藩主を支える老重臣は旧態のまま改革には至りません。藩主にはその無気力さが屈辱的でした。そのなか信亨侯は次第に儒教の“忠孝信義”を説く心学者石田梅岩(倫理学開祖)に心を寄せて家政執務をとらなくなりました。志ある家臣は諫めました、逆に諫言の士は疎んじられ離散し始めました。

『年代略記』には次のように記されています。「奸臣、得意顔に振る舞いければ録を棄てて藩を脱する者多く日に日にして実に藩の浮沈断絶にも関する重大なる秋ときなりし」、「この時参政中村新右衛門の如き忠誠の臣及び老女伊田氏の如き屢々苦諫むこを呈せしがその忠誠却って仇となり両人とも無辜の罪に座し中村の如きは揚り屋(牢屋敷)中に餓死の有様にて主を思いつつ逝去せりと誠に残念の極みと云うべし」(②)。この藩内の壮絶な争いを後に「寛政の政変」と呼んでいます。

それらは他言許されない極秘の事件でしたが、「忠臣中村新右衛門幽死の顛末」「塾居日記」「寛政時代上山藩藩政秘録」に記されて後世に残されました。

今回はこの内証ないこうのおぞましい仕打ちを明らかにしたいと思います。

※参考文献：主に『上山藩内証事件資料』②、他に『藤井御傳記』①、『上山年代略記』②などを参照しました。